

## コミュニティ・スクールだより

No2 (6.15)

地域と学校の架け橋を目指して

## 地域・保護者の方によって児童の安全な登校がまもられています。

近年、児童の安全が危惧される事案が全国で多発しており、三ツ城小学校区でいつこのようなことが発生するかわかりません。日常の危機管理を十分に行っていきたいと考えています。

先日、近隣の方から「児童の下校時間に合わせて、犬の散歩をしているんですよ。児童が『ただいま帰りました』と気持ちよく挨拶してくれて元気が出ます。」という声をいただきました。

登下校時の交通指導だけでなく地域の多くの方の見守りの目をいただくことが、地域の安全・児童の安全につながっています。

今後も、地域の多くの皆様の「見守りの目」をよろしく願いいたします。



## 放課後子ども教室（わくわく広場）が始まりました！

## 学校敷地法面の特定外来植物（オオキンケイギク）の駆除をしていただきました。



6月4日から、放課後子ども教室（わくわく広場）が始まりました。

この教室は、3年生以上の希望する子供達に学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・持続的に提供する目的で地域住民や大学生の参画を得て開催されるものです。今年度は、茶道、世界の発見、ハンドベル、折り紙、工作、オセロ、バドミントン、ヒップホップ、レクレーションの9種の活動が2月まで行われる予定です。

初日は折り紙・バドミントン（4年生）が開催され子供達は日頃できない活動や交流を楽しみました。

この時期、道路などの法面に美しい黄色い花を咲かせている「オオキンケイギク」。この花は、過酷な環境でもよく育つため、以前は法面などのグランドカバーとしてよく使われたため、瞬く間に繁殖を広げ、日本の在来植物を駆逐するようになり、平成18年に外来生物法に基づく「特定外来植物」に指定され、東広島市でも駆除対象になっている植物です。

5月22日、広島大学の方や保護者の方が集まって三ツ城小学校の敷地法面に沢山咲いているオオキンケイギクの駆除を行っていただきました。

今後も、多くの参加者で継続していただきたい活動です。